

Ⅷ 調査結果（大学・短期大学・専修学校等）

1 「学生に対する消費者教育の実施状況等」について

問1 消費者教育に関する授業や取り組みを行っている学部等、講義・ゼミ、学年、時間数を記入してください。また、内容について書ける範囲で記入してください。（複数回答）

【1. 学部：講義内容】

■大学

学 部	講 義 内 容
法学部	消費者問題の構造とそれに対する法的な対処や規制を理解したうえで、紛糾やトラブルを事前に防ぐ、あるいは解決へと導くために必要な法律知識並びに法的思考力を習得する
経済学部	「消費者をめぐる法律問題の諸相」をテーマに講義を行っている
教育学部	消費者教育の担い手になる教員、指導者の育成である。そのために、これまでに学んだ消費生活にかかわる知識、また、教育方法に関する知識を活かして、授業担当者が開発した教材である「だれでもカルタ～うそ電話サギ版～」の使い方を地域リーダーに広めるための研修会の企画、運営を行う
航空工学科 情報電子システム工学科 機械システム工学科 自然環境工学科 建築デザイン学科	パンフレット(大学生活の手引き)(サラ金・クレジットカード)多重債務者、注意点とは
農学部・畜産学部	暮らしを守る法律(生活の中の民法、消費者金融や商取引)・土地や契約に関する法律(契約書、農地法)
農学部・共同獣医学部	国民経済における食料経済の位置、食料用経済の展開とその社会的背景、食料の生産と消費の特徴、食料経済を構成する農水産業、食品流通業、飲食業、消費者の役割、それらが参加する食料市場の機能と構造を講義する

■短期大学

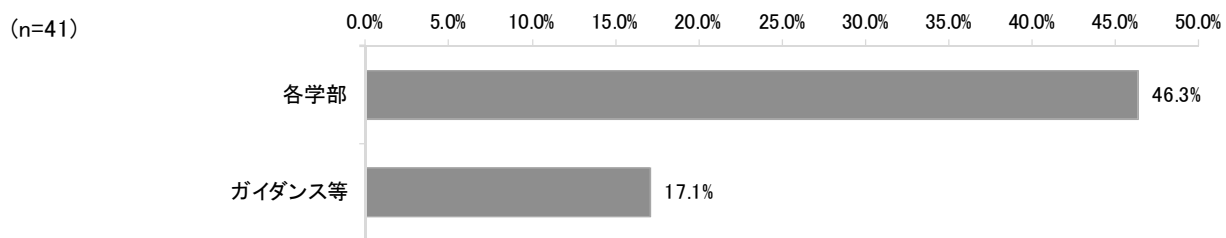
学 部	講 義 内 容
教養学科	成人の位置づけや「契約」から派生する法的権利、義務について取り上げる授業回がある
幼児教育	クレジット・サラ金・多重債務等・生活設計
児童教育生活科	産業と経済、金融の基本的なしくみを学び、且つグローバル社会を理解するための国際経済の現状に触れ、日本、地域経済の課題について考える

■専修学校等

学 部	講 義 内 容		
日本語学科	家計管理, 金銭トラブル		
こども学科	家計管理, 金銭トラブル		
環境情報システム学科	カーボン・オフセット講習	森林の活動体験, ボランティア	
環境情報オフィス学科	きゆうでん プレイフォレストへのボランティア参加		
キャリア養成学科	生活設計・家計管理・金融トラブル		
はり・きゆう学科	家計の管理	ローンとクレジット	
理学療法学科	家計の管理	ローンとクレジット	社会人になる前の消費者教育
作業療法学科	家計の管理・金銭トラブル	ローンとクレジット	
柔道整復学科	家計の管理	ローンとクレジット	
言語聴覚学科	家計の管理	ローンとクレジット	
言語聴覚療法学科	社会人になる前の消費者教育		
看護学科	家計管理, 金銭トラブル	消費生活に関連した内容	
歯科衛生学科	生活設計資金, 公的年金, ローン・クレジット消費契約とトラブル, 資産形成, 保険		
美容学科	家計に関する支出のバランスなど		
衛生専門課程美容学科	社会人としての責任	従業員としての責任	
理容学科	ローン, クレジットの利用にあたってなど	家計に関する支出のバランスなど	
電気技術工学科 自動車工学科 建築デザイン学科 建築士専攻科	生活設計, 家計管理	カードローン, 名義貸し等	

【実施状況】

消費者教育に関する授業や取り組みを行っている学部等については、「各学部」が46.3%、「ガイダンス等」が17.1%となっている。

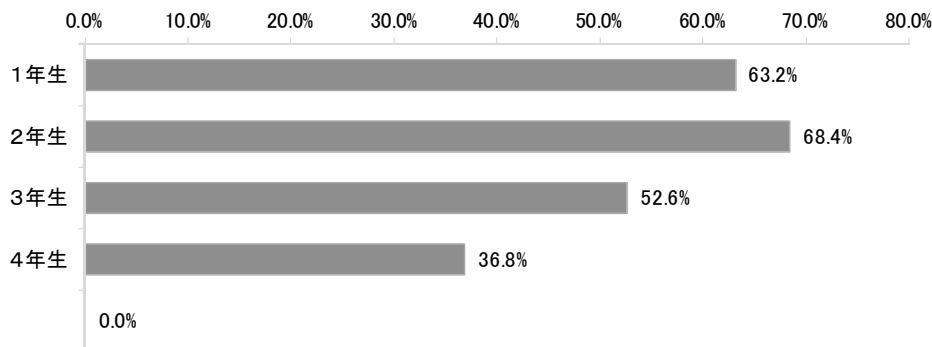


上段:回答者数 下段:構成比		合計	各学部	ガイダンス等
<div style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: #cccccc; border: 1px solid black;"></div> 上位1位 <div style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background: repeating-linear-gradient(45deg, transparent, transparent 2px, #cccccc 2px, #cccccc 4px); border: 1px solid black;"></div> 上位2位				
今回調査		41	19 46.3%	7 17.1%
大学・短期大学・専修学校等	大学	6	4 66.7%	3 50.0%
	国立	2	1 50.0%	1 50.0%
	私立	4	3 75.0%	2 50.0%
	短期大学	4	3 75.0%	2 50.0%
	国立	1	1 100.0%	0 0.0%
	公立	0	0 0.0%	0 0.0%
	私立	3	2 66.7%	2 66.7%
	専修学校等	29	12 41.4%	2 6.9%
	公立	5	2 40.0%	0 0.0%
	私立	24	10 41.7%	2 8.3%
	無回答	2	0 0.0%	0 0.0%
	学校規模別	200人以下	23	8 34.8%
201~400人		5	2 40.0%	0 0.0%
401~600人		5	2 40.0%	2 40.0%
601人以上		8	7 87.5%	2 25.0%
無回答		0	0 0.0%	0 0.0%

【1. 学部：学年別】（複数回答）

消費者教育に関する授業や取り組みを行っている学年については、「2年生」が68.4%と最も多く、次いで「1年生」が63.2%、「3年生」が52.6%となっている。

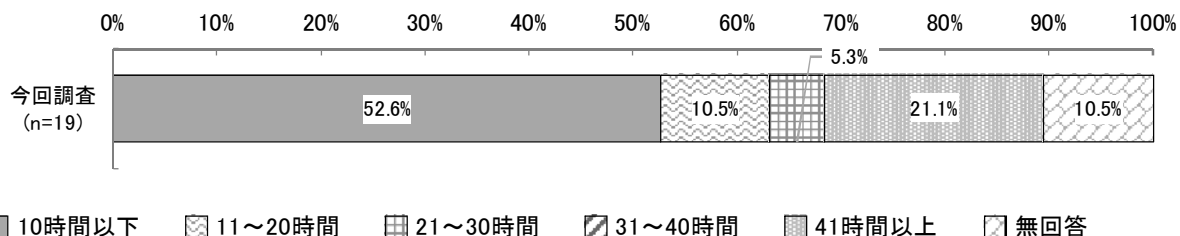
(n=19)



上段: 回答者数 下段: 構成比		合計	1年生	2年生	3年生	4年生
<div style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: #cccccc; border: 1px solid black;"></div> 上位1位 <div style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background: repeating-linear-gradient(45deg, transparent, transparent 2px, #cccccc 2px, #cccccc 4px); border: 1px solid black;"></div> 上位2位						
今回調査		19	12	13	10	7
		-	63.2%	68.4%	52.6%	36.8%
大学・短期大学・専修学校等	大学	4	2	3	4	3
		-	50.0%	75.0%	100.0%	75.0%
	国立	1	0	1	1	1
		-	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	私立	3	2	2	3	2
		-	66.7%	66.7%	100.0%	66.7%
	短期大学	3	1	2	1	1
		-	33.3%	66.7%	33.3%	33.3%
	国立	1	0	0	1	1
		-	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
	公立	0	0	0	0	0
		-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	私立	2	1	2	0	0
	-	50.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
専修学校等	12	9	8	5	3	
	-	75.0%	66.7%	41.7%	25.0%	
公立	2	1	2	1	0	
	-	50.0%	100.0%	50.0%	0.0%	
私立	10	8	6	4	3	
	-	80.0%	60.0%	40.0%	30.0%	
無回答	0	0	0	0	0	
	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
学校規模別	200人以下	8	6	6	2	1
		-	75.0%	75.0%	25.0%	12.5%
	201~400人	2	2	2	2	1
		-	100.0%	100.0%	100.0%	50.0%
	401~600人	2	1	1	1	0
		-	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%
601人以上	7	3	4	5	5	
	-	42.9%	57.1%	71.4%	71.4%	
無回答	0	0	0	0	0	
	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

【1. 学部：時間別】（単数回答）

消費者教育に関する授業や取り組みを行っている時間については、「10時間以下」が52.6%と最も多く、次いで「40時間以上」が21.1%となっている。



上段: 回答者数 下段: 構成比		合計	1 0 時間 以下	1 1 5 2 0 時間	2 1 5 3 0 時間	3 1 5 4 0 時間	4 1 時間 以上	無 回 答	
■ 上位1位 ▨ 上位2位									
今回調査		19 100.0%	10 52.6%	2 10.5%	1 5.3%	0 0.0%	4 21.1%	2 10.5%	
大学・短期大学・専修学校等	大学	4 100.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	1 25.0%	
	国立	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	
	私立	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	
	短期大学	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	
	国立	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	
	公立	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	私立	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	
	専修学校等	12 100.0%	8 66.7%	2 16.7%	1 8.3%	0 0.0%	1 8.3%	0 0.0%	
	公立	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	私立	10 100.0%	7 70.0%	1 10.0%	1 10.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%	
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	学校規模別	200人以下	8 100.0%	6 75.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%
		201~400人	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
		401~600人	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
601人以上		7 100.0%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 42.9%	2 28.6%	
無回答		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	

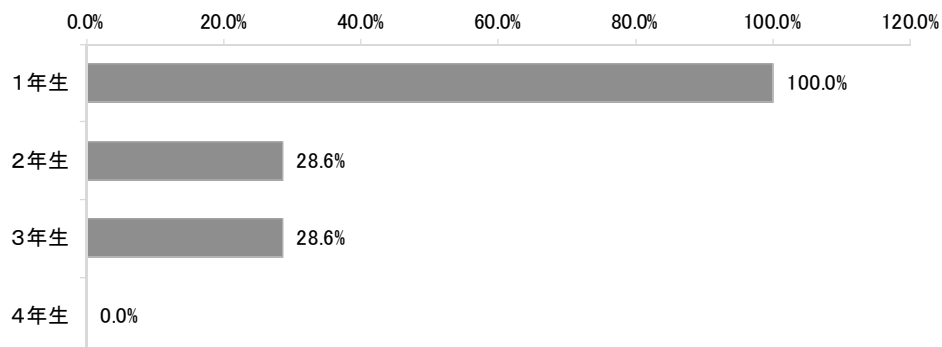
【1. 各学部：学習内容】

消費者をめぐる法律問題
生活の中の民法
授業担当者が開発した教材「だれでもカルタ〜うそ電話サギ版〜」を広報するための企画・運営
金銭トラブル
ローンとクレジット
消費者金融や商取引
名義貸し
多重債務
土地や契約に関する法律（契約書，農地法）
カーボン・オフセット
国民経済における食料経済の位置や，展開とその社会的背景，食料の生産と消費の特徴，食料経済を構成する農水産業・食品流通業・飲食業・消費者の役割と，それらが参加する食料市場の機能と構造
グローバル社会を理解するための国際経済の現状に触れ，日本，地域経済の課題
社会人になる前の消費者教育
生活設計資金
家計管理
資産形成や保険
公的年金

【2. ガイダンス等：学年別】（複数回答）

消費者教育に関するガイダンス等を行っている学年については、「1年生」が100.0%と最も多く、次いで「2年生」と「3年生」がともに28.6%となっている。

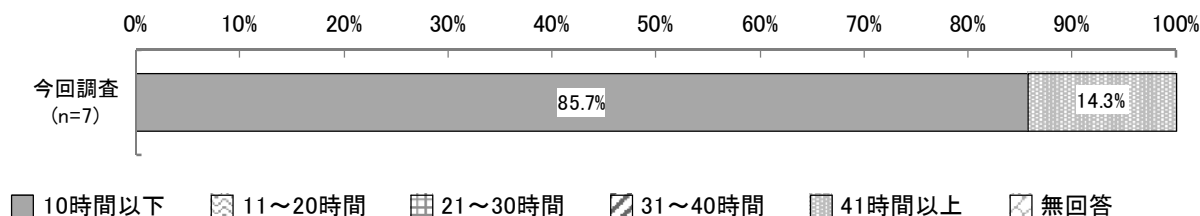
(n=7)



上段: 回答者数 下段: 構成比		合計	1年生	2年生	3年生	4年生
上位1位	上位2位					
今回調査		7	7	2	2	0
		-	100.0%	28.6%	28.6%	0.0%
大学・短期大学・専修学校等	大学	3	3	0	1	0
		-	100.0%	0.0%	33.3%	0.0%
	国立	1	1	0	1	0
		-	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	私立	2	2	0	0	0
		-	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	短期大学	2	2	1	0	0
		-	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	国立	0	0	0	0	0
		-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	公立	0	0	0	0	0
		-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	私立	2	2	1	0	0
		-	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	専修学校等	2	2	1	1	0
	-	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	
公立	0	0	0	0	0	
	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
私立	2	2	1	1	0	
	-	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	
無回答	0	0	0	0	0	
	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
学校規模別	200人以下	3	3	2	1	0
		-	100.0%	66.7%	33.3%	0.0%
	201~400人	0	0	0	0	0
		-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	401~600人	2	2	0	0	0
		-	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
601人以上	2	2	0	1	0	
	-	100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	
無回答	0	0	0	0	0	
	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

【2. ガイダンス等：時間別】（単数回答）

消費者教育に関するガイダンス等を行っている時間については、「10 時間以下」が 85.7%と最も多く、次いで「40 時間以上」が 14.3%となっている。



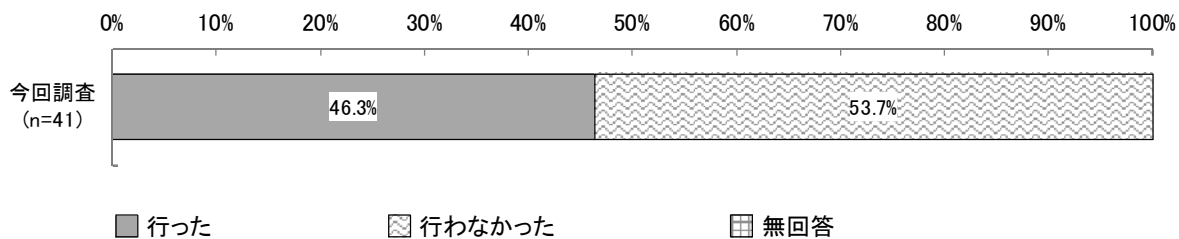
上段：回答者数 下段：構成比		合計	10時間以下	11～20時間	21～30時間	31～40時間	41時間以上	無回答
上位1位	上位2位							
今回調査		7 100.0%	6 85.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%
大学		3 100.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%
国立		1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
私立		2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
短期大学		2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
国立		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
公立		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
私立		2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
専修学校等		2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
公立		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
私立		2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
200人以下		3 100.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
201～400人		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
401～600人		2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
601人以上		2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%
無回答		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

【2. ガイダンス等：学習内容】

消費者生活まめ知識
お金に関する知識と判断力の修得支援
金融トラブル防止
ローン、クレジットの利用方法
食の簡便化へのニーズと企業行動の変化と、それが魚食に及ぼす影響についてのディスカッション

問2 外部講師による教育を行いましたか。(単数回答)

外部講師による教育については、「行った」が46.3%、「行わなかった」が53.7%となっている。



上段: 回答者数 下段: 構成比		合計	行った	行わなかった	無回答
■ 上位1位 ▨ 上位2位					
今回調査		41	19	22	0
		100.0%	46.3%	53.7%	0.0%
大学・短期大学・専修学校等	大学	6	3	3	0
		100.0%	50.0%	50.0%	0.0%
	国立	2	1	1	0
		100.0%	50.0%	50.0%	0.0%
	私立	4	2	2	0
		100.0%	50.0%	50.0%	0.0%
	短期大学	4	2	2	0
		100.0%	50.0%	50.0%	0.0%
	国立	1	0	1	0
		100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	公立	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	私立	3	2	1	0
		100.0%	66.7%	33.3%	0.0%
専修学校等	29	14	15	0	
	100.0%	48.3%	51.7%	0.0%	
公立	5	3	2	0	
	100.0%	60.0%	40.0%	0.0%	
私立	24	11	13	0	
	100.0%	45.8%	54.2%	0.0%	
無回答	2	0	2	0	
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
学校規模別	200人以下	23	11	12	0
		100.0%	47.8%	52.2%	0.0%
	201～400人	5	2	3	0
		100.0%	40.0%	60.0%	0.0%
	401～600人	5	3	2	0
	100.0%	60.0%	40.0%	0.0%	
601人以上	8	3	5	0	
	100.0%	37.5%	62.5%	0.0%	
無回答	0	0	0	0	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

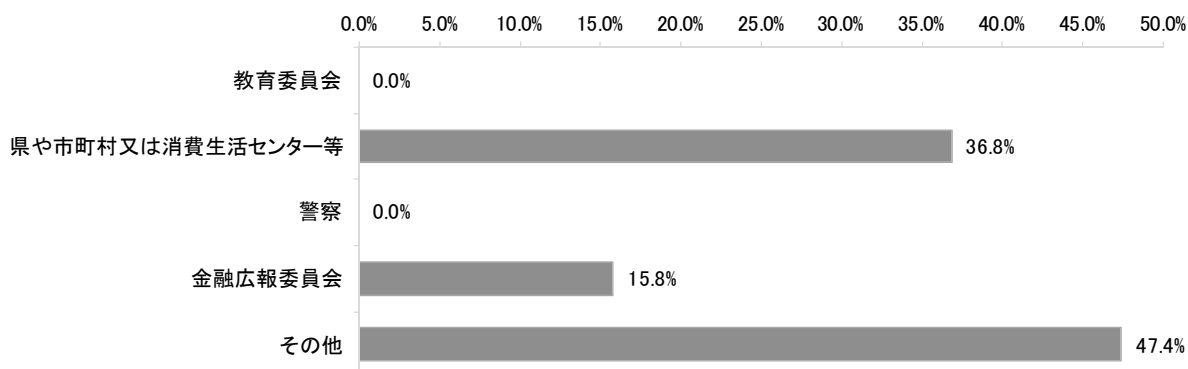
問3 問2で「1 行った」とお答えになった方にお聞きします。

教育を行った外部講師の所属を選んでください。あてはまるものをすべて選んでください。

(複数回答)

教育を行った外部講師の所属については、「その他」が47.4%と最も多く、次いで「県や市町村又は消費生活センター等」が36.8%、「金融広報委員会」が15.8%となっている。

(n=19)



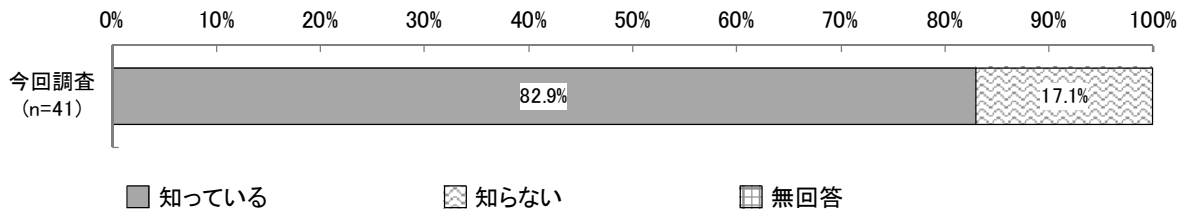
	上段: 回答者数 下段: 構成比	合計	教育委員会	消費生活センター等	県や市町村又は	警察	金融広報委員会	その他
今回調査	19	19	0	7	0	3	9	
	-	-	0.0%	36.8%	0.0%	15.8%	47.4%	
大学	3	3	0	1	0	0	2	
	-	-	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	
国立	1	1	0	1	0	0	0	
	-	-	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
私立	2	2	0	0	0	0	2	
	-	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
短期大学	2	2	0	1	0	1	0	
	-	-	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	
国立	0	0	0	0	0	0	0	
	-	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
公立	0	0	0	0	0	0	0	
	-	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
私立	2	2	0	1	0	1	0	
	-	-	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	
専修学校等	14	14	0	5	0	2	7	
	-	-	0.0%	35.7%	0.0%	14.3%	50.0%	
公立	3	3	0	2	0	0	1	
	-	-	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	
私立	11	11	0	3	0	2	6	
	-	-	0.0%	27.3%	0.0%	18.2%	54.5%	
無回答	0	0	0	0	0	0	0	
	-	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
200人以下	11	11	0	4	0	2	5	
	-	-	0.0%	36.4%	0.0%	18.2%	45.5%	
201~400人	2	2	0	1	0	1	0	
	-	-	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	
401~600人	3	3	0	1	0	0	2	
	-	-	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	
601人以上	3	3	0	1	0	0	2	
	-	-	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	
無回答	0	0	0	0	0	0	0	
	-	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

その他の回答
社会保険労務士
NPOネットポリス鹿児島
SMBCコンシューマーファイナンス
SMBCプロミス

問4 令和4年4月1日から、民法の成年年齢が18歳に引下げられることを知っていますか。

(単数回答)

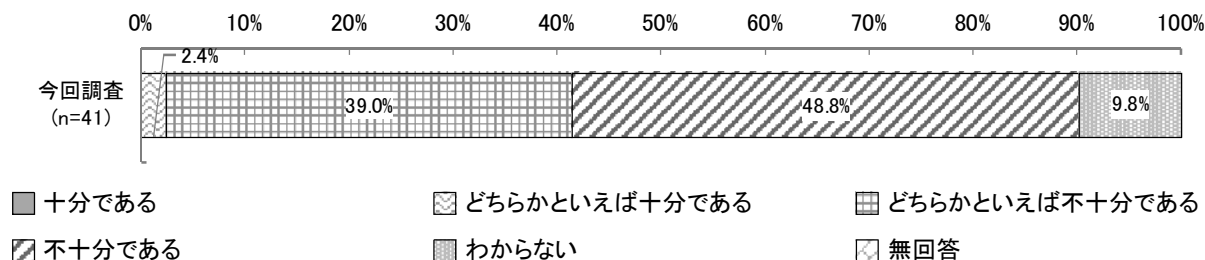
成年年齢引下げの認知については、「知っている」が82.9%、「知らない」が17.1%となっている。



上段: 回答者数 下段: 構成比		合計	知っている	知らない	無回答	
■ 上位1位 □ 上位2位						
今回調査		41 100.0%	34 82.9%	7 17.1%	0 0.0%	
大学・短期大学・専修学校等 区分別	大学	6 100.0%	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	国立	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	私立	4 100.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	短期大学	4 100.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	国立	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	公立	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	私立	3 100.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	専修学校等	29 100.0%	22 75.9%	7 24.1%	0 0.0%	
	公立	5 100.0%	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%	
	私立	24 100.0%	18 75.0%	6 25.0%	0 0.0%	
	無回答	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	学校規模別	200人以下	23 100.0%	18 78.3%	5 21.7%	0 0.0%
		201～400人	5 100.0%	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
401～600人		5 100.0%	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%	
601人以上		8 100.0%	7 87.5%	1 12.5%	0 0.0%	
無回答		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	

問5 成年年齢が18歳に引き下げられれば、18歳、19歳は父母の同意なく一人で契約ができ、これまでのように未成年という理由では、契約を取り消すことはできなくなります。現時点で、成年年齢の引下げに伴う消費者教育は十分だと思いますか。(単数回答)

成年年齢の引下げに伴う消費者教育については、「不十分である」が48.8%と最も多く、次いで「どちらかといえば不十分である」が39.0%、「わからない」が9.8%となっている。



上段: 回答者数 下段: 構成比		合計	十分である	どちらかといえば十分である	どちらかといえば不十分である	不十分である	わからない	無回答
上位1位	上位2位							
今回調査		41 100.0%	0 0.0%	1 2.4%	16 39.0%	20 48.8%	4 9.8%	0 0.0%
大学・短期大学・専修学校等	大学	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 66.7%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%
	国立	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	私立	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%
	短期大学	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%
	国立	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
	公立	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	私立	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	専修学校等	29 100.0%	0 0.0%	1 3.4%	11 37.9%	15 51.7%	2 6.9%	0 0.0%
	公立	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	4 80.0%	0 0.0%	0 0.0%
	私立	24 100.0%	0 0.0%	1 4.2%	10 41.7%	11 45.8%	2 8.3%	0 0.0%
	無回答	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
	学校規模別	200人以下	23 100.0%	0 0.0%	1 4.3%	7 30.4%	13 56.5%	2 8.7%
201~400人		5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
401~600人		5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	3 60.0%	1 20.0%	0 0.0%
601人以上		8 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 50.0%	3 37.5%	1 12.5%	0 0.0%
無回答		0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

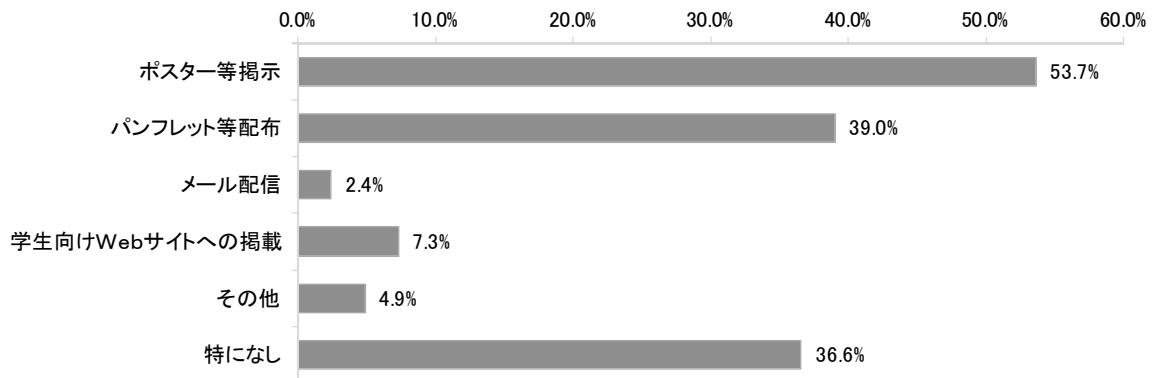
問6 成年年齢の引下げに伴い、今後、学生に対して、どのような消費者教育の取り組みが必要だと思いますか。ご自由にお書きください。

高校におけるカリキュラムの中で、ある程度必要な知識の習得
大学前後期オリエンテーションでの資料配布、構内の目に付く場所に掲示、指導等促す
社会学の講師による講義
生活設計や金銭トラブル防止について反復・継続した教育の実施
具体例を挙げての消費者教育
地元での事例を上げ、より身近にトラブルはひそんでいることを知らせる
どの程度の知識を持っているか認識するための自己診断、チェックシート等
契約に関する啓発動画視聴による教育
詐欺に合わない為の教育
カードローンや悪徳商法など安易に契約せず、契約時は、説明書を確認し計画的に行うよう教育
不用意で契約した場合の責任発生等、責任が個人に及ぼす影響についての教育
インターネット購入での留意点
ネット通販の安全な利用方法
キャッシュレス（カード、Epay 等）の安全な利用方法
家計管理、金融トラブル
金融機関からの借金を安易にしない取り組み
成年年齢引き下げの事実を周知徹底
消費者相談窓口の周知
メディアでの情報周知
自治会活動や、学校行事運営の指導時に経営的視点の教育
家計簿（小遣い帳）を習慣的につける
家庭内での躾

問7 学生に対してどのような啓発・情報提供を行っていますか。(複数回答)

啓発・情報提供については、「ポスター等掲示」が53.7%と最も多く、次いで「パンフレット等配布」が39.0%、「特になし」が36.6%となっている。

(n=41)



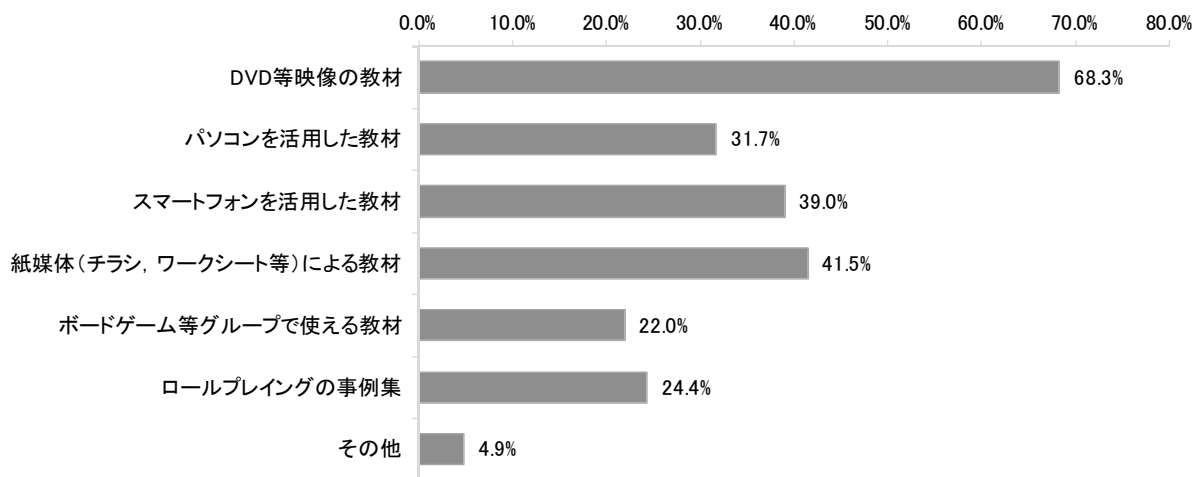
上段:回答者数 下段:構成比		合計	ポスター等掲示	パンフレット等配布	メール配信	学生向けWebサイトへの掲載	その他	特になし	その他の回答		
■ 上位1位	▨ 上位2位								講義内で具体的事例を紹介		
今回調査		41	22 53.7%	16 39.0%	1 2.4%	3 7.3%	2 4.9%	15 36.6%			
大学・短期大学・専修学校等	大学	6	4 66.7%	4 66.7%	1 16.7%	1 16.7%	2 33.3%	1 16.7%			
	国立	2	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%			
	私立	4	2 50.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%			
	短期大学	4	2 50.0%	3 75.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%			
	国立	1	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%			
	公立	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%			
	私立	3	2 66.7%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%			
	専修学校等	29	16 55.2%	8 27.6%	0 0.0%	1 3.4%	0 0.0%	12 41.4%			
	公立	5	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 80.0%			
	私立	24	15 62.5%	7 29.2%	0 0.0%	1 4.2%	0 0.0%	8 33.3%			
	無回答	2	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%			
	学校規模別	200人以下	23	12 52.2%	5 21.7%	0 0.0%	1 4.3%	0 0.0%	11 47.8%		
		201~400人	5	3 60.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%		
401~600人		5	3 60.0%	4 80.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%			
601人以上		8	4 50.0%	6 75.0%	1 12.5%	2 25.0%	2 25.0%	1 12.5%			
無回答		0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%			
(無回答)		0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%			

2 「消費者教育用の教材」について

問8 授業等で活用しやすいまたは効果があると思われる教材を選んでください。あてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)

授業等で活用しやすい有効な教材については、「DVD等映像の教材」が68.3%と最も多く、次いで「紙媒体(チラシ, ワークシート等)による教材」が41.5%, 「スマートフォンを活用した教材」が39.0%となっている。

(n=41)

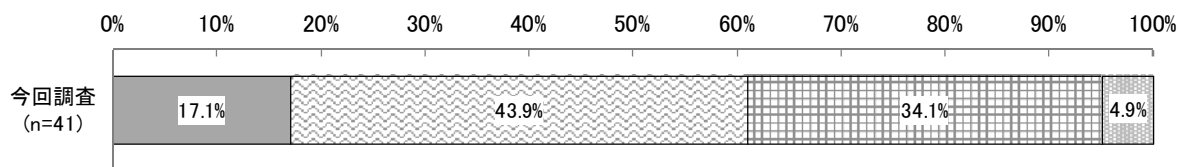


区別	上段:回答者数 下段:構成比	合計	DVD等映像の教材	パソコンを活用した教材	スマートフォンを活用した教材	紙媒体(チラシ, ワークシート等)による教材	ボードゲーム等グループで使える教材	ロールプレイングの事例集	その他	
										上位1位
今回調査	41	41	28 68.3%	13 31.7%	16 39.0%	17 41.5%	9 22.0%	10 24.4%	2 4.9%	
大学・短期大学・専修学校等	大学	6	4 66.7%	2 33.3%	2 33.3%	4 66.7%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	
	国立	2	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	
	私立	4	2 50.0%	1 25.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	
	短期大学	4	4 100.0%	4 100.0%	2 50.0%	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%	1 25.0%	
	国立	1	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	公立	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	私立	3	3 100.0%	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	1 33.3%	
	専修学校等	29	18 62.1%	6 20.7%	11 37.9%	11 37.9%	6 20.7%	7 24.1%	0 0.0%	
	公立	5	4 80.0%	3 60.0%	1 20.0%	4 80.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	
	私立	24	14 58.3%	3 12.5%	10 41.7%	7 29.2%	6 25.0%	5 20.8%	0 0.0%	
	無回答	2	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	
	学校規模別	200人以下	23	14 60.9%	6 26.1%	9 39.1%	8 34.8%	3 13.0%	7 30.4%	0 0.0%
		201~400人	5	4 80.0%	1 20.0%	2 40.0%	2 40.0%	3 60.0%	1 20.0%	0 0.0%
401~600人		5	4 80.0%	2 40.0%	2 40.0%	2 40.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	
601人以上		8	6 75.0%	4 50.0%	3 37.5%	5 62.5%	2 25.0%	1 12.5%	2 25.0%	
無回答		0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	

その他の回答
 現行は掲示及びパンフレットの配布
 コンパクトな紙媒体テキスト

問9 紙媒体の場合、最も活用しやすい提供方法を1つだけ選んでください。(単数回答)

紙媒体における活用しやすい方法については、「インターネットにより教材をダウンロードする」が43.9%と最も多く、次いで「教材の必要部数の提供」が34.1%、「コピーができる見本の配布」が17.1%となっている。



- コピーができる見本の配布
- ▨ インターネットにより教材をダウンロードする
- ▩ 教材の必要部数の提供
- ▧ その他
- ▦ 無回答

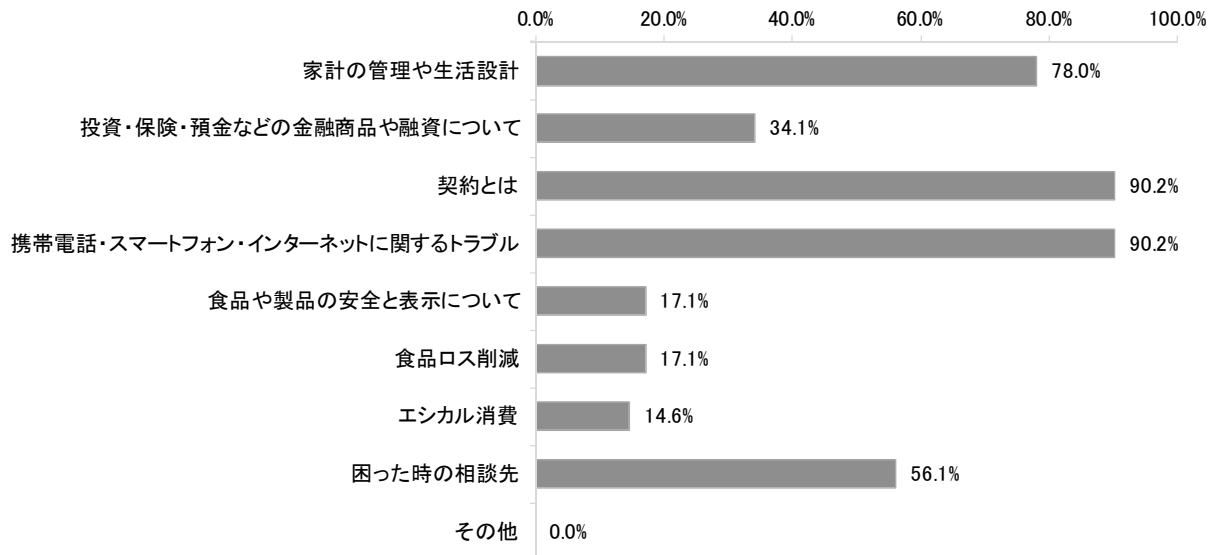
上段: 回答者数 下段: 構成比		合計	見本の配布	インターネットにより教材をダウンロードする	教材の必要部数	その他	無回答
■ 上位1位 ▨ 上位2位							
今回調査		41	7	18	14	0	2
		100.0%	17.1%	43.9%	34.1%	0.0%	4.9%
大学・短期大学・専修学校等	大学	6	2	1	2	0	1
		100.0%	33.3%	16.7%	33.3%	0.0%	16.7%
	国立	2	1	1	0	0	0
		100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	私立	4	1	0	2	0	1
		100.0%	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%	25.0%
	短期大学	4	2	1	1	0	0
		100.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	国立	1	0	0	1	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	公立	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	私立	3	2	1	0	0	0
		100.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
専修学校等	29	3	16	9	0	1	
	100.0%	10.3%	55.2%	31.0%	0.0%	3.4%	
公立	5	0	2	2	0	1	
	100.0%	0.0%	40.0%	40.0%	0.0%	20.0%	
私立	24	3	14	7	0	0	
	100.0%	12.5%	58.3%	29.2%	0.0%	0.0%	
無回答	2	0	0	2	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
学校規模別	200人以下	23	4	8	10	0	1
		100.0%	17.4%	34.8%	43.5%	0.0%	4.3%
	201～400人	5	0	5	0	0	0
		100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	401～600人	5	1	3	1	0	0
	100.0%	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	
601人以上	8	2	2	3	0	1	
	100.0%	25.0%	25.0%	37.5%	0.0%	12.5%	
無回答	0	0	0	0	0	0	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

3 「学生に対する消費者教育の課題等」について

問10 消費者教育で取り組むべきテーマを選んでください。あてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)

消費者教育で取り組むべきテーマについては、「契約とは」と「携帯電話・スマートフォン・インターネットに関するトラブル」がともに90.2%と最も多く、次いで「家計の管理や生活設計」が78.0%、「困った時の相談先」が56.1%となっている。

(n=41)

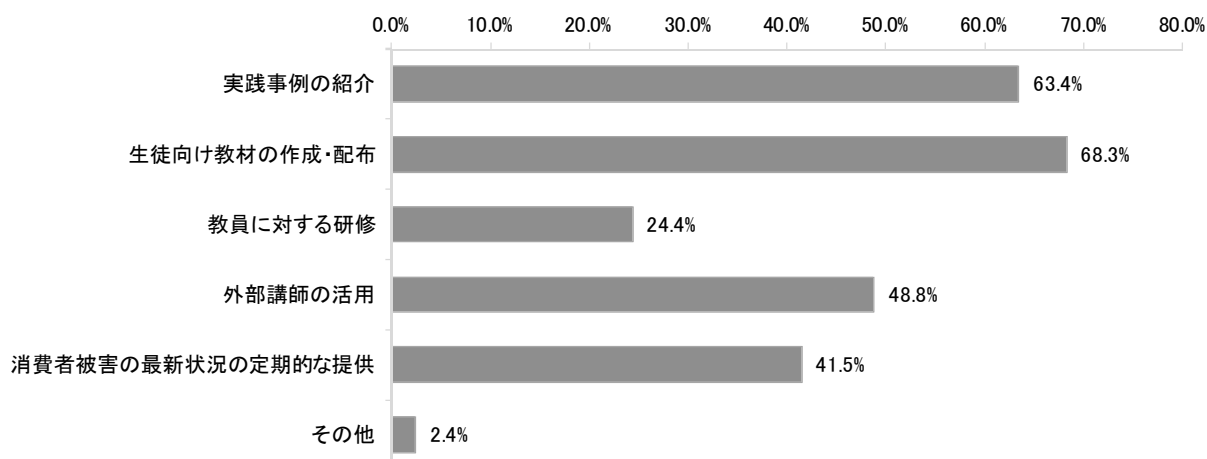


上段: 回答者数 下段: 構成比	合計	活家	融投	契約	携	全	食	食	エ	先	そ
		計計	資の	約とは	帯	と	品	品	シ	困	他
		の管	保・		電	と	や	ロ	カ	っ	
		理や	険・		話	表	製	ス	ル	た	
		生	預		・	示	品	削	消	時	
			金		ス	の	の	減	費	の	
			や		マ	つ	の			相	
			融		イ	づ	安			談	
			資		ン	い	い			先	
			に		ト	っ	っ			の	
			つ		ラ	っ	っ			時	
			い		ブ	っ	っ			の	
			て		ル	っ	っ			相	
			は		ト	っ	っ			談	
			り		ラ	っ	っ			先	
			ま		ブ	っ	っ			の	
			る		ル	っ	っ			時	
			も		ト	っ	っ			の	
			の		ラ	っ	っ			相	
			を		ブ	っ	っ			談	
			す		ル	っ	っ			先	
			べ		ト	っ	っ			の	
			た		ラ	っ	っ			時	
			ま		ブ	っ	っ			の	
			ら		ル	っ	っ			相	
			り		ト	っ	っ			談	
			ま		ラ	っ	っ			先	
			る		ブ	っ	っ			の	
			も		ル	っ	っ			時	
			の		ト	っ	っ			の	
			を		ラ	っ	っ			相	
			す		ブ	っ	っ			談	
			べ		ル	っ	っ			先	
			た		ト	っ	っ			の	
			ま		ラ	っ	っ			時	
			ら		ブ	っ	っ			の	
			り		ル	っ	っ			相	
			ま		ト	っ	っ			談	
			る		ラ	っ	っ			先	
			も		ブ	っ	っ			の	
			の		ル	っ	っ			時	
			を		ト	っ	っ			の	
			す		ラ	っ	っ			相	
			べ		ブ	っ	っ			談	
			た		ル	っ	っ			先	
			ま		ト	っ	っ			の	
			ら		ラ	っ	っ			時	
			り		ブ	っ	っ			の	
			ま		ル	っ	っ			相	
			る		ト	っ	っ			談	
			も		ラ	っ	っ			先	
			の		ブ	っ	っ			の	
			を		ル	っ	っ			時	
			す		ト	っ	っ			の	
			べ		ラ	っ	っ			相	
			た		ブ	っ	っ			談	
			ま		ル	っ	っ			先	
			ら		ト	っ	っ			の	
			り		ラ	っ	っ			時	
			ま		ブ	っ	っ			の	
			る		ル	っ	っ			相	
			も		ト	っ	っ			談	
			の		ラ	っ	っ			先	
			を		ブ	っ	っ			の	
			す		ル	っ	っ			時	
			べ		ト	っ	っ			の	
			た		ラ	っ	っ			相	
			ま		ブ	っ	っ			談	
			ら		ル	っ	っ			先	
			り		ト	っ	っ			の	
			ま		ラ	っ	っ			時	
			る		ブ	っ	っ			の	
			も		ル	っ	っ			相	
			の		ト	っ	っ			談	
			を		ラ	っ	っ			先	
			す		ブ	っ	っ			の	
			べ		ル	っ	っ			時	
			た		ト	っ	っ			の	
			ま		ラ	っ	っ			相	
			ら		ブ	っ	っ			談	
			り		ル	っ	っ			先	
			ま		ト	っ	っ			の	
			る		ラ	っ	っ			時	
			も		ブ	っ	っ			の	
			の		ル	っ	っ			相	
			を		ト	っ	っ			談	
			す		ラ	っ	っ			先	
			べ		ブ	っ	っ			の	
			た		ル	っ	っ			時	
			ま		ト	っ	っ			の	
			ら		ラ	っ	っ			相	
			り		ブ	っ	っ			談	
			ま		ル	っ	っ			先	
			る		ト	っ	っ			の	
			も		ラ	っ	っ			時	
			の		ブ	っ	っ			の	
			を		ル	っ	っ			相	
			す		ト	っ	っ			談	
			べ		ラ	っ	っ			先	
			た		ブ	っ	っ			の	
			ま		ル	っ	っ			時	
			ら		ト	っ	っ			の	
			り		ラ	っ	っ			相	
			ま		ブ	っ	っ			談	
			る		ル	っ	っ			先	
			も		ト	っ	っ			の	
			の		ラ	っ	っ			時	
			を		ブ	っ	っ			の	
			す		ル	っ	っ			相	
			べ		ト	っ	っ			談	
			た		ラ	っ	っ			先	
			ま		ブ	っ	っ			の	
			ら		ル	っ	っ			時	
			り		ト	っ	っ			の	
			ま		ラ	っ	っ			相	
			る		ブ	っ	っ			談	
			も		ル	っ	っ			先	
			の		ト	っ	っ			の	
			を		ラ	っ	っ			相	
			す		ブ	っ	っ			談	
			べ		ル	っ	っ			先	
			た		ト	っ	っ			の	
			ま		ラ	っ	っ			時	
			ら		ブ	っ	っ			の	
			り		ル	っ	っ			相	
			ま		ト	っ	っ			談	
			る		ラ	っ	っ			先	
			も		ブ	っ	っ			の	
			の		ル	っ	っ			時	
			を		ト	っ	っ			の	
			す		ラ	っ	っ			相	
			べ		ブ	っ	っ			談	
			た		ル	っ	っ			先	
			ま		ト	っ	っ			の	
			ら		ラ	っ	っ			時	
			り		ブ	っ	っ			の	
			ま		ル	っ	っ			相	
			る		ト	っ	っ			談	
			も		ラ	っ	っ			先	
			の		ブ	っ	っ			の	
			を		ル	っ	っ			相	
			す		ト	っ	っ			談	
			べ		ラ	っ	っ			先	
			た		ブ	っ	っ			の	
			ま		ル	っ	っ			時	
			ら		ト	っ	っ			の	
			り		ラ	っ	っ			相	
			ま		ブ	っ	っ			談	
			る		ル	っ	っ			先	
			も		ト	っ	っ				

問 1 2 学校において消費者教育を推進するために必要だと思うことを選んでください。あてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)

学校において消費者教育を推進するために必要なことについては、「生徒向け教材の作成・配布」が 68.3%と最も多く、次いで「実践事例の紹介」が 63.4%、「外部講師の活用」が 48.8%となっている。

(n=41)



上段: 回答者数 下段: 構成比	合計	実践事例の紹介	生徒向け教材の作成・配布	教員に対する研修	外部講師の活用	新状況の定期的な提供	消費者被害の定期的最	その他
今回調査	41	26 63.4%	28 68.3%	10 24.4%	20 48.8%	17 41.5%	1 2.4%	
大学	6	4 66.7%	6 100.0%	2 33.3%	3 50.0%	2 33.3%	0 0.0%	
国立	2	2 100.0%	2 100.0%	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	
私立	4	2 50.0%	4 100.0%	0 0.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	
短期大学	4	2 50.0%	3 75.0%	2 50.0%	2 50.0%	3 75.0%	1 25.0%	
国立	1	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	
公立	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
私立	3	1 33.3%	2 66.7%	1 33.3%	1 33.3%	2 66.7%	1 33.3%	
専修学校等	29	18 62.1%	18 62.1%	5 17.2%	13 44.8%	12 41.4%	0 0.0%	
公立	5	2 40.0%	4 80.0%	2 40.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	
私立	24	16 66.7%	14 58.3%	3 12.5%	11 45.8%	11 45.8%	0 0.0%	
無回答	2	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	
200人以下	23	15 65.2%	14 60.9%	4 17.4%	11 47.8%	9 39.1%	0 0.0%	
201~400人	5	3 60.0%	4 80.0%	1 20.0%	2 40.0%	2 40.0%	0 0.0%	
401~600人	5	4 80.0%	3 60.0%	2 40.0%	2 40.0%	2 40.0%	0 0.0%	
601人以上	8	4 50.0%	7 87.5%	3 37.5%	5 62.5%	4 50.0%	1 12.5%	
無回答	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	

問 1 3 消費者教育に関する取り組み充実のために、ご意見等がございましたら、ご自由にお書きください。

※主なもの

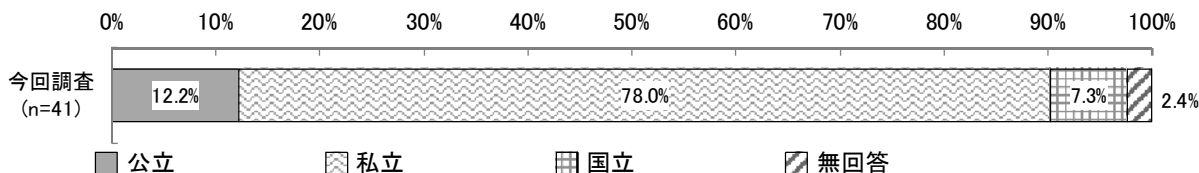
回答(自由記述)
環境問題を絡めた消費者教育をこれからも進めていきたい。
学生がトラブルに巻き込まれることのないよう、また一人暮らしを始める学生が経済的事情で学業に支障をきたすことのないよう、教職員自身も消費者教育について、必要な事項を把握し、学生双方で確認しながら学業に影響のないよう関わっていききたい。
在校時には特別な教育の必要性は感じないが、卒業時に社会人として必要な知識を持たせることは有効と考える。
学生が当事者意識をもち、話を聞いたり、資料を読んだりするような環境づくりが必要。
大学生になってからの教育では遅く、小学校中学校あたりから、消費者としての自覚や、消費者に関わる法的ルールの基本を学ばせる必要がある。
教師の負担増は避けるべきなので、外部専門家の力を借りる等の工夫が求められる。

4 「貴校の概要」について

問14 貴校の概要について回答してください。(単数回答)

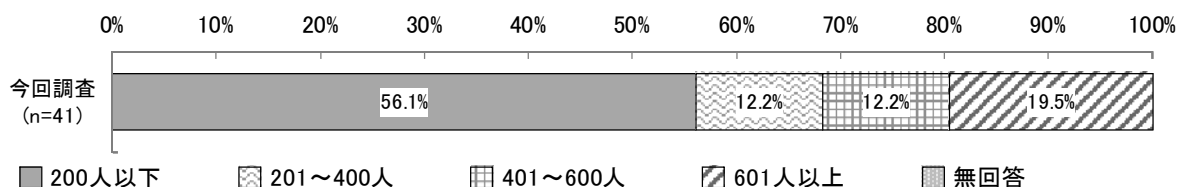
学校区分については、「私立」が78.0%と最も多く、次いで「公立」が12.2%となっている。
 学校規模については、「200人以下」が56.1%と最も多く、次いで「601人以上」が19.5%となっている。

【区分】



	上段:回答者数 下段:構成比	合計	公立	私立	国立	無回答
			上位1位 上位2位			
今回調査	41 100.0%	41	5 12.2%	32 78.0%	3 7.3%	1 2.4%
学校規模別	200人以下	23 100.0%	4 17.4%	18 78.3%	0 0.0%	1 4.3%
	201~400人	5 100.0%	1 20.0%	4 80.0%	0 0.0%	0 0.0%
	401~600人	5 100.0%	0 0.0%	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	601人以上	8 100.0%	0 0.0%	5 62.5%	3 37.5%	0 0.0%
	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

【学校規模】



	上段:回答者数 下段:構成比	合計	200人以下	201~400人	401~600人	601人以上	無回答
			上位1位 上位2位				
今回調査	41 100.0%	41	23 56.1%	5 12.2%	5 12.2%	8 19.5%	0 0.0%
大学	6 100.0%	6	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	5 83.3%	0 0.0%
	国立	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%
私立	4 100.0%	4	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%
短期大学	4 100.0%	4	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%
	国立	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
	公立	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
私立	3 100.0%	3	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%
専修学校等	29 100.0%	29	21 72.4%	5 17.2%	2 6.9%	1 3.4%	0 0.0%
	公立	5 100.0%	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	私立	24 100.0%	17 70.8%	4 16.7%	2 8.3%	1 4.2%	0 0.0%
無回答	2 100.0%	2	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	

